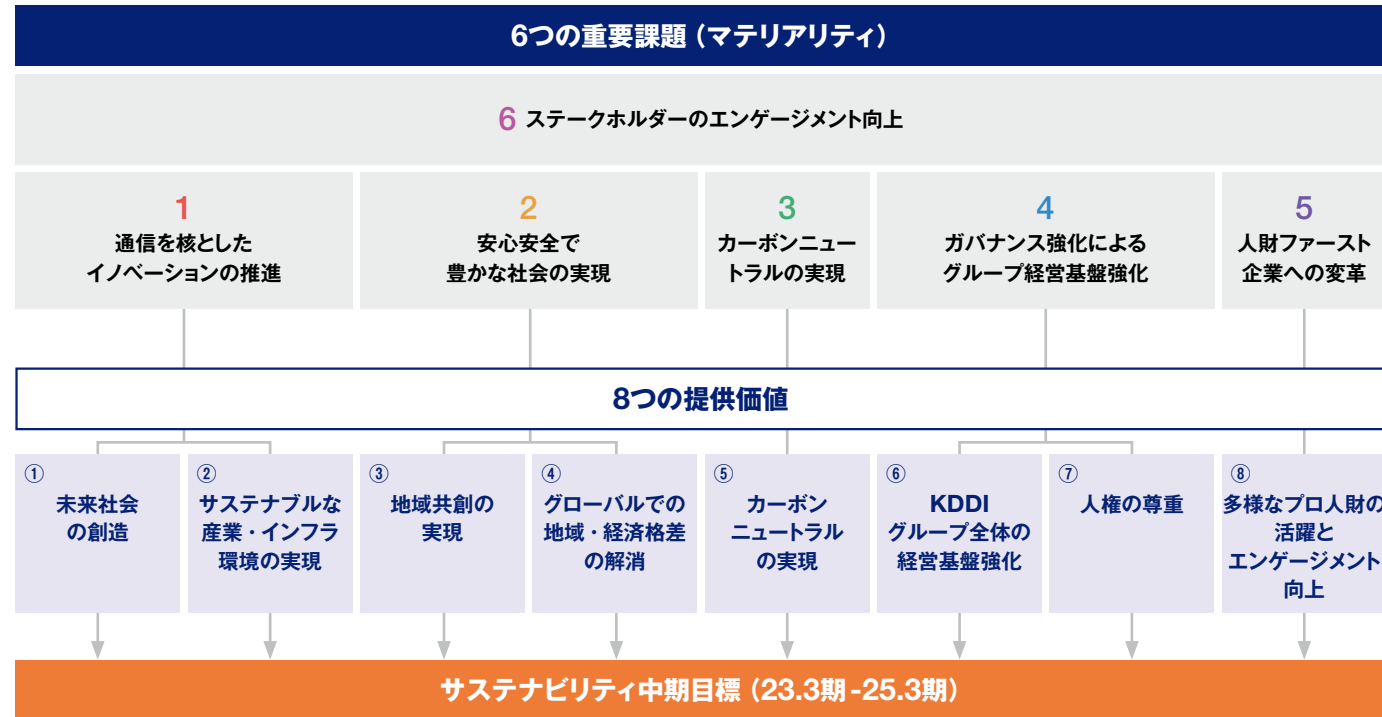


新重要課題 (マテリアリティ)

6つの重要課題 (マテリアリティ)

長期投資家等マルチステークホルダーの関心事項と事業へのインパクトを軸に、新中期経営戦略における課題をマッピングし集約いたしました。当社の事業変革に必要なイノベーションの推進、事業の多様化に伴う人財強化やガバナンス強化、気候変動など国際社会の課題意識の高まりに対応した点が変化点です。



マテリアリティ 1 通信を核としたイノベーションの推進

▶ 提供価値

- ①通信を核としたサテライトグロース戦略により、お客さまの日常で実感できるイノベーションを推進し、未来社会を創造する
- ②通信その他の社会インフラ・つながるクルマに対して、革新的なソリューションを提供することで、サステナブルな産業・インフラ環境を実現する

マテリアリティ 2 安心安全で豊かな社会の実現

▶ 提供価値

- ③通信を核としたDXにより人と地域の想いをつなぎ、情報格差、地域課題を解決することで、地域共創を実現する
- ④海外新興国にて通信と周辺サービスの維持拡充を図り、現地の経済発展に貢献することで、地域・経済格差を解消する

マテリアリティ 3 カーボンニュートラルの実現

▶ 提供価値

- ⑤当社2030年度カーボンニュートラル実現※に加え、お客さまへ再生可能エネルギー電気を提供し、地球規模の課題である気候変動問題の解決に貢献する

※ Scope1+2

マテリアリティ 4 ガバナンス強化によるグループ経営基盤強化

▶ 提供価値

- ⑥KDDIグループ全体のガバナンス強化による強固な経営基盤の確立を通じて、社会・環境価値を創出する
- ⑦あらゆる事業活動において人権を尊重するとともに、サプライチェーンでの人権侵害を撲滅し、社会の持続的成長に貢献する

マテリアリティ 5 人財ファースト企業への変革

▶ 提供価値

- ⑧多様かつ高度なプロ人財の活躍と挑戦心あふれる企業風土の醸成により、イノベーションを創出し、社会の持続的成長に貢献する

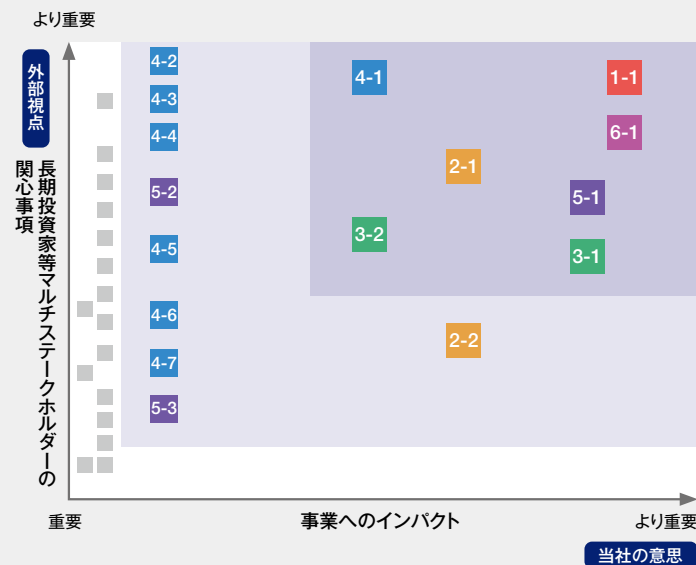
マテリアリティ 6 ステークホルダーのエンゲージメント向上

マテリアリティ再選定プロセス

KDDIは、中期経営戦略(23.3期-25.3期)の策定に伴い、サステナビリティに関する重要課題(マテリアリティ)を見直しました。

1. サステナビリティ情報開示の国際的なガイドラインであるGRI要請項目および情報通信業界に対するESG評価機関の要請事項から、重要課題を抽出
2. 「長期投資家等マルチステークホルダーの関心事項(縦軸)」と「事業へのインパクト(横軸)」をそれぞれ点数化し、優先順位を設定
3. 社外有識者等へのヒアリングによりいただいたご意見を反映し、6つの最重要課題(マテリアリティ)を特定
4. サステナビリティ委員会および取締役会で妥当性を審議し、確定

重要課題マトリクス



- マテリアリティ1 通信を核としたイノベーションの推進**
- 1-1 通信を核としたサテライトグロース戦略により、お客さまの日常で実感できるイノベーションを推進し、未来社会を創造する
- マテリアリティ2 安心安全で豊かな社会の実現**
- 2-1 技術革新によりレジリエントなインフラを提供し、安心安全な社会と経済発展を実現
 - 2-2 DXによる新たな価値創出による情報格差の解消
- マテリアリティ3 カーボンニュートラルの実現**
- 3-1 脱炭素化推進により社会の持続的成長を達成し、豊かな地球を未来に残す
 - 3-2 KDDIグループでの2050年度カーボンニュートラルの達成
- マテリアリティ4 ガバナンス強化によるグループ経営基盤強化**
- 4-1 強固なデータセキュリティの構築によるお客さまプライバシーの確保
 - 4-2 リスクマネジメントの徹底
 - 4-3 実効的かつ透明性のあるガバナンス体制の整備
 - 4-4 コンプライアンスの徹底
 - 4-5 人権の尊重
 - 4-6 公正かつ積極的な情報開示
 - 4-7 持続可能な調達を推進
- マテリアリティ5 人財ファースト企業への変革**
- 5-1 従業員の幸福の追求とダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - 5-2 人財育成とキャリア開発
 - 5-3 健康経営への取り組み
- マテリアリティ6 ステークホルダーのエンゲージメント向上**
- 6-1 従業員、お客さま、代理店、サプライヤー、株主を含む全てのステークホルダーとの強固な関係構築

8つの提供価値と25のサステナビリティ中期目標 (23.3期-25.3期)

提供価値	サステナビリティ中期目標 (23.3期-25.3期)			
	実施内容	指標	22.3期実績	25.3期
① 未来社会の創造	サテライトグロース戦略に基づく事業創造・研究開発プロジェクトの推進	プロジェクト数 (累計)	21件	60件
	自治体さまと連携したバーチャルシティの提供	月間アクティブユーザー数の成長		
	イノベーションの推進による知的資本の強化	5G / Beyond 5G + サテライトグロース関連領域の保有特許件数	—	対前年20%増
② サステナブルな産業・インフラ環境の実現	産業・インフラDXへの貢献	IoT回線数 (累計)	2,450万回線	4,400万回線
	お客さまの働き方改革を推進	KDDIのお客さま (法人) に占める、ゼロトラストソリューションの導入率	—	35%
	5Gエリアの拡大	5G人口カバー率 政府目標95% (24.3期) への貢献		
	重大事故撲滅	重大事故発生件数 ※総務省の事故報告判断基準ガイドラインに準ずる	0件	0件
	地域のデバйд解消支援	支援者数 (累計) ※スマホ教室、店頭サポート、使い方サポート、交通オンデマンド、地域教育支援 (講義・セミナーなど)、かんたんTV電話、自治体・中堅・中小組織デバйд解消等	570万人	1,500万人
③ 地域共創の実現	地域体験応援サービスの構築	地域体験応援サービスのご利用者数 (累計)		
	金融格差の解消	決済・金融取扱高	11.7兆円	16.3兆円
	ミャンマーにおけるグローバル事業の拡大	従業員の安全確保と、新興国の国民の人権を尊重し、国民の生活に不可欠な社会インフラの維持に取り組む		
④ グローバルでの地域・経済格差の解消	モンゴルにおける通信を活用した教育や次世代の育成	次世代を担う13歳以下向け通信サービス「Stars」の加入者数 (累計)	—	18万人

提供価値	サステナビリティ中期目標 (23.3期-25.3期)			
	実施内容	指標	22.3期実績	25.3期
⑤ カーボンニュートラルの実現	通信設備を含むKDDIのカーボンニュートラル化	KDDIのカーボンニュートラル実現 Scope 1+2 (KDDI単体)	CO ₂ 排出量: 1.09百万tCO ₂	FY2030 カーボンニュートラルの達成
		全世界のKDDIデータセンターのカーボンニュートラル実現 ※他社のデータセンター施設や設備を一部借り受けてサービス提供する形態は除く	CO ₂ 排出量: 0.3百万tCO ₂	FY2026 カーボンニュートラルの達成
	お客さまへの再生可能エネルギー (再エネ) 提供	法人契約に占める再エネメニュー率	—	60%超
	次世代再エネソリューションの提供	EVステーションの設置、仮想発電所 (VPP)、IoTを活用した再エネインフラメンテナンス等の次世代エネルギーソリューションをパートナー連携を通じて提供し、社会の再エネ利用を促進、効率化		
⑥ KDDIグループ全体の経営基盤強化	グループ全体のガバナンスと情報セキュリティの強化	重大事故発生件数*1 ・サイバーセキュリティ起因の個人情報の漏えいおよび重大なサービスの停止 ・個人情報の不適切な利用 ・上記以外の重大事故	0件	0件
		先進セキュリティ技術への取り組み件数*2 (累計)	4件	15件
⑦ 人権の尊重	人権を尊重した事業活動の実施	KDDIグループのあらゆる事業活動における人権の尊重		
	人権デューデリジェンス*3	人権侵害の恐れがある取引先への改善率 (対応不備なら取引停止検討) ・KDDIグループ調達方針等への賛同 ・高リスク先の特定と対話 ・高リスク先への改善支援	仕入額上位約90%の仕入先に人権尊重の状況を確認 (回答率98%)	改善率100%
⑧ 多様なプロ人財の活躍とエンゲージメント向上	プロ人財育成のためのキャリア開発	各専門領域のプロ人財比率	—	30% ※全領域
		全社員におけるDX基礎スキル研修修了者 (KDDI単体: 累計) ※習得機会はグループへ拡大	—	全社員
	社員エンゲージメントサーベイの実施	社員エンゲージメントスコアの維持向上	72 ※四半期ごと (4回/年) のサーベイ結果平均	72以上を維持
	多様性を重視した人財の活躍推進 (D&I 関連)	女性取締役の構成比率	7.1%	20%以上
女性経営基幹職の構成比率*4 (KDDI単体)		9.4%	15%以上	

*1 主務官庁への報告・届け出等レピュテーションを著しく棄損する事案
*2 KDDI単体、KDDI総合研究所によるニュースリリース・トピックス件数
*3 KDDIグループ調達額90%および人権リスクが把握された取引先が対象
*4 経営基幹職: 人事評価権限を持つ組織のリーダーならびに専門領域のエキスパート、実績値は翌年度期初 (4/1) 時点の比率